

令和3年度 住民懇談会（菊陽南小学校区）

日時 令和3年12月16日（木） 19:00～20:20
会場 南部町民センター
参加者 13人

- 1 開会
- 2 町長挨拶（町の最近の取組について）
- 3 第6期菊陽町総合計画の概要について
- 4 質疑、意見交換
- 5 閉会

◎質疑、意見交換でのご意見など

《空港アクセス鉄道、中間駅について》

・県はT S M C（台湾積体電路製造）の進出により、再度3案で検討するとしているが、当初の決定どおり中間駅の建設を含む三里木駅ルートで進めてほしい。町の考えは。

→アクセス鉄道は県の事業であり、現時点では詳細が示されていないため、検討を見守っている状況です。空港へのアクセスに加え、中間駅の建設で周辺地域が活性化することを要因として三里木ルートに決定された経緯があるので、町に関わる問題として注視していきます。

《交通渋滞、県道辛川鹿本線の整備について》

・町全体が交通渋滞を招く場所になっているように感じる。渋滞緩和につながる県道辛川鹿本線整備の進捗は。

→町内の区間については、県（県北広域本部）が整備を進めており、年度内に説明会を開く予定です。町では交通渋滞を大きな課題と考えており、今後、町全域を対象に渋滞状況の調査を実施する予定です。

《国体道路沿線への店舗の立地について》

・地区には食料や日用品を購入できる店舗が少ない。高齢になり車を運転できなくなると生活に支障が出る。最低限で良いので、国体道路沿線に日常の買い物ができる店舗を誘致できないか。

→過去に検討したことがあり、農振農用地の除外(県の同意)が必要なことから、店舗等の立地は困難でした。ご意見を踏まえ、土地利用について町として何ができるか、引き続き検討を続けていきます。

《定住促進について》

・校区が高齢化する中、調整区域の集落内開発で数十戸の住宅地が分譲されると聞いている。高齢化が進む地域にとっては、活性化が進み非常に良いことだが、新しく人が増えるということで心配な面もある。

→できるだけ住民同士での話し合いの機会を確保するなど、町でも支援に努めます。

《鼻ぐり井手の活用について》

・鼻ぐり井手は、貴重な歴史文化遺産として町が誇るべきもの。学校教育の一環としての取り組みも進んでおり、高校の修学旅行などで県外からも注目されている。今後、更なる進展を期待したい〔要望〕。

→ご意見ありがとうございました。

《県道瀬田龍田線のバイパス(校区を東西に走る新たな道路)の構想について》

・計画として載せてあるため一安心だが、計画の進捗は。

→構想として、町の都市計画マスタープランにしっかりと位置づけています。今すぐというわけではありませんが、将来事業化できるタイミングを計っていきます。